

「ぶっくらぶ大木」文部科学大臣表彰を受賞!



左から、北島さん、平木さん、徳永代表、馬渡さん

ぶっくらぶ大木は、平成4年に大木町で活動を開始しました。小学校での読み聞かせを中心に活動を行っており、現在までの28年間で、延べ3,600回以上の活動を行っています。また、学童保育所や保育園、町立図書館で読み聞かせを行い、幼児期の子どもから大人まで幅広い層の読書習慣の形成に寄与しているほか、大川市立図書館が主催する「大川市立図書館・小中学校司書合同研修会」などで講師を務め、県内の司書や読書ボランティアの質の向上に尽力するなど、学校や各種施設、関係機関と連携して幅広く読書活動を行っていることなどが評価されました。

ぶっくらぶ大木のみなさん、受賞おめでとうございます!

- 代表者: 徳永 清美
- 所在地: 三潞郡大木町上八院587-1
- 連絡先: 0944(33)1435

青少年アンビシャス運動支援の会 助成団体

特定非営利活動法人 私善

田植え体験を通して感じる農業の楽しさと生き物との共存

特定非営利活動法人 私善は、農作物の栽培や収穫等を通して、子どもたちに「農業は大変な作業ではなく、生き物と共存している楽しいものだ」ということを感じてもらうための活動をしています。

今年の6月には、佐賀県基山町の田んぼでもち米の田植えを行いました。初めは不慣れな手つきで作業していた子どもたちも、徐々に慣れた手つきでどんどん田植えを進めていき、予定していた時間よりも早く植え終わることができました。子どもたちの素晴らしい集中力、大人たちも「びっくり」の1日でした。

最初は泥で汚れることを嫌がっていた子どもも、育てたもち米をお餅にして食べることを楽しみに、泥だらけになりながら一生懸命に田植えを行うなど、成長した姿が垣間見えました。

また、子どもたちは、田んぼに生息するジャンボタニシやカエル、イモリといった生き物にも興味を示し、捕まえてきては大人たちに「これは何?」と質問してきたり、子どもたち同士で教えあったり、と積極的に活動を楽しんでいました。

今回、田植えしたもち米は、秋に稲刈りを行い、12月に開催する餅つき大会で子どもたちと一緒に収穫の喜びを味わう予定です。



慣れた手つきで植えていきます

- 代表者: 麻澤 直希
- 所在地: 太宰府市観世音寺2-7-27-302
- 連絡先: 092(287)8962

ホームページをリニューアルしました!

青少年アンビシャス運動に関する情報を県民の皆さんに、より分かりやすくお伝えしていくため、6月25日にホームページをリニューアルしました。

新しいホームページは「見やすさ」や「使いやすさ」を重視したつくりとしており、また、スマートフォン対応としたことで、いつでもどこでも気軽にアクセスしていただけるようになりました。

「参加団体の検索機能」や「イベント情報の投稿機能」なども、より使いやすくなっています。

今後とも、アンビシャス運動に関するたくさんの情報を発信していきますので、是非アクセスしてください!



<URL>
<https://www.ambitious.pref.fukuoka.jp/>

夢に向かってチャレンジしよう!

福岡ソフトバンクホークスからオリジナル文具が寄贈されました!

日頃から「青少年アンビシャス運動」の趣旨に賛同し、応援いただいている福岡ソフトバンクホークスから、今年も県内の小学生(新1年生、新4年生)に対し、青少年アンビシャス運動と連携したオリジナル文具(下敷きとクリアファイル)が寄贈されました。この取組は平成26年度から続いており、今回で6回目となります。寄贈されたオリジナル文具は学校の再開に合わせて、すでに全県下の新1年生、新4年生に届けられています。学校の再開を楽しみにしていた小学生の皆さん、この文具を使って一生懸命勉強し、夢に向かってチャレンジしよう!



寄贈された下敷き(左)とクリアファイル(右)

詳しくはコチラ↑

★アンビシャス通信(88号)へのご意見・ご感想はコチラから



★アンビシャス通信vol.88/令和2年8月発行
★編集・発行/福岡県青少年育成課 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL 092-643-3615 FAX 092-643-3389
E-mail ambitious@pref.fukuoka.lg.jp ホームページ <https://www.ambitious.pref.fukuoka.jp/>

アンビシャス



ambitious report

通信

Vol.88 | 2020 Summer



空気のかで浮く乗り物「ホバークラフト」を作ります

ペットボトルで作った「いかだ」。いざ、進水!

大きな段ボールで「どでか紙相撲」

青少年アンビシャス運動で育った若者たち

若者たちにインタビュー

子どもの頃に青少年アンビシャス運動に参加し、様々な経験をして育った若者たちにインタビューを行いました。若者たちは、活動を通して学んだことや、将来の夢・目標などについて真摯に語ってくれました。

「遊びの森」クラブ(鞍手町)

自身の体験や学びを、次の世代にもつないでいきたい

「遊びの森」クラブでは、子ども同士で遊ぶのはもちろん、地域の方たちも一緒になって遊ぶことができたのがとても楽しかったです。高学年になると視野が広がり、低学年の子にも気を配り、面倒を見る立場になっていきました。地域の方たちに私たちが支えられていることを実感したことで、自分も地域に恩返しをしたいと思い、現在は教員を目指して頑張っています。自分が体験したことや学んだことを次の世代にもつないでいきたいと思っています。



木村 百花 さん(失学1年生)

周りの大人から褒められたことが心に残っています

活動中はよく低学年の子の面倒をみていました。この経験から、周囲の人への気配りを忘れず、困っている人が放っておけないようになりました。絵を描くことが好きなので、将来はデザイン系の仕事につきたいと思っています。小学生のとき、周りから「絵が上手」と褒められたことや、自分が描いた絵を大人が認めてくれたことが、とても嬉しく記憶に残っています。



芝田 真帆 さん(高校3年生)

人との関わりに対する苦手意識や先入観がなくなりました

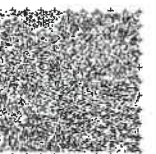
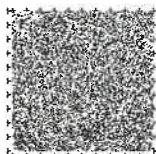
活動に参加する前は、人と関わることに苦手意識を持っていましたが、たくさんの子どもたちと一緒に遊ぶことで相手の良いところを見つけることができるようになり、苦手意識や先入観を持たずに人と関わるようになりました。今後の目標は、まだ定まっていませんが、活動を通して様々な人の「心」に興味を抱くようになったため、将来の選択肢の一つとして、心理学を学ぶことを視野に入れていきます。



木村 菜々美 さん(高校2年生)

代表の嶋立さんから一言

幼い頃に「故郷愛」を育んでもらおうと始めた「遊び」で、子どもたちがこうして成長している姿を見て、とても嬉しく思います。また「遊びの森」に来て、可愛い後輩たちと一緒に遊んでほしいです。



若者たちにインタビュー

～青少年アンビシャス運動で育った若者たち～

神興アンビシャス広場(福津市)

広場で得た経験を将来に活かしていきたい



みやもと 宮本 あおい さん(中学1年生)

小学5年生のときに、福津市のコミュニティフェスタのステージで、広場の活動を紹介する機会がありました。それまでは、人前に出て話すことに対して苦手意識がありましたが、発表後は達成感を感じ、自分に自信が持てるようになりました。

また、広場に参加したことで、低学年の子や小さい子の面倒を見るのが好きだな、と感じるようになりました。将来は保育士など、小さい子と関わる仕事がしたいと思っています。

今後は、知らない人と接したり、コミュニケーションをとることが難しい人との懸け橋になったりして、いろいろな人に関わっていきたくと思っています。広場で経験してきたことを自分の将来に活かしていきたいです。

前代表の宮本さんから一言

広場での行事や福津市のコミュニティフェスタでの発表を通して、みんなの「やりたい!学びたい!」をたくさん体験できましたね。子どもたちのきらきらした笑顔を見るたび、私たちスタッフもやりがいを感じています。



コミュニティフェスタでの発表の様子

きたっ子アンビシャス広場(北九州市小倉北区)

人とのつながりを大切に、地域に貢献したい

小学2年生の頃から広場に参加し、社会人になった今でもボランティアとして広場に関わっています。広場で地域の方と関わることで、低学年の子どもから年配の方たちまで幅広く、人と関わるのが楽しいと感じるようになりました。人見知りしなくなり、様々な年齢層の方とコミュニケーションを取ることが、今ではとても楽しいです。

これまで広場に関わってこれたのは、尊敬する松原さん(広場の代表者)の存在が大きいです。活動中、必ずそばにいてくれたので、安心感がありました。今後は、地域のまちづくりに貢献していきたいと思っています。人とのつながりを大切に、楽しい企画を考えていきたいです。



わたなべ こうすけ 渡辺 倅介 さん(社会人)



デイキャンプで子どもたちの指導をする渡辺さん

「楽しさ」で周りを引っ張るリーダーに

小学校高学年の頃から広場でリーダー的役割を務めることが多く、リーダーシップが身についたと思います。この経験から、リーダーとは周囲の人を「楽しさ」でひきつけ、引っ張ることができる力を持つ人だと思えるようになりました。

中学2年生頃からは、ボランティアとしても広場に関わっています。イベントの手伝いなどをすることで、人の役に立てたり、子どもたちが喜んでくれる姿を見たりすると嬉しいと感じられるようになりました。

将来は地元企業に就職し、地域でのボランティア活動を続けていきたいと思っています。



かわの ひろと 河野 広翔 さん(高校1年生)



子どもたちにニューゲームを教える河野さん

代表の松原さんから一言

2人ともリーダー的立場に成長し、感謝とともに有難く、力強く思っています。これからも地域の子ども達の健全育成に、2人とともに諸活動を推進していきたいと思っています。



取材風景

若者の声大募集!!

青少年育成課では、子どもの頃に青少年アンビシャス運動に参加し、成長した若者(OB・OG)の皆さんに取材を行い、広報紙やホームページ等で紹介していく予定です。

子どもの頃の楽しい思い出や自分自身への影響などについて、語っていただける若者を探しています。また、皆さんのお近くに成長した今も運動に関わっている若者がいたら、是非、当課までご連絡ください!

(連絡先は裏表紙下部に記載しています。)

絵本コンシェルジュ

～乳幼児の読書活動をサポートします～



福岡県では、乳幼児の読み聞かせに必要な知識、技能、感性を習得できる養成講座を開催しており、その修了者である232名を「絵本コンシェルジュ」として名簿登録しています。

絵本コンシェルジュは、乳幼児の読み聞かせボランティアとして、乳幼児と保護者が集う場所で読み聞かせをしたり、読書ボランティアの資質向上を図るため、読書ボランティアグループにお話会のプログラム作りや選書方法を助言したりしています。令和元年度は3,400件以上の活動実績が報告されており、日々、精力的に活動されています。

乳幼児向けのお話会を開催したいとき、読書ボランティアのスキルアップを図りたいとき、お気軽に絵本コンシェルジュへお声掛けください!

絵本コンシェルジュの名簿や紹介依頼については、青少年アンビシャス運動ホームページに掲載していますのでご確認ください。



詳しくはコチラ↓



読み聞かせを行う絵本コンシェルジュ 楽しいおはなし会に子どもたちも夢中



アンビシャス・青年リーダー

～子どもたちと一緒に楽しく活動します～

アンビシャス・青年リーダーは、子どもと関わるのが好きな高校生から社会人のメンバーで構成された青年ボランティアです。

子どもたちの遊び場・学び場として開放されている「アンビシャス広場」等で子どもたちと一緒に遊んだり、体験活動をサポートしたりしています。

昨年度は、アンビシャス広場で餅つきのお手伝いや、アンビシャス運動参加団体が主催するイベントで子どもたちに絵本の読み聞かせや、トイレトペーパーの芯を使ったロケットのおもちゃ作りの指導を行うなど、約100か所を訪問し、様々な活動を行いました。

子どもたちが楽しめる遊びやイベント等を企画したいときは、青年リーダーがお手伝いします!

青年リーダーの派遣を希望される際は、最寄りの教育事務所にお問い合わせください。

アンビシャス・青年リーダーは、若い力で子どもたちの体験活動をサポートしていきます!ぜひ、皆さんの広場にお呼びください!(福岡地域青年リーダー)



ここにこデイキャンプの様子



青年リーダーの登録はコチラ

青少年アンビシャス運動支援の会 令和2年度 前期助成団体が決定しました

「青少年アンビシャス運動支援の会」は、民間企業が発起人となって設立されました。アンビシャス運動参加団体を対象に、青少年育成につながる、優れて先進的な活動に対して助成を行っています。

令和2年度(前期)助成団体一覧

期間	団体名	活動名
長期	環境ネットワーク「虹」	地域の里田・里山の生物多様性保全プロジェクト2020
	特定非営利活動法人 福岡津屋崎子ども劇場	和太鼓・しの笛体験事業
	子供囲碁教室交流実行委員会	子供囲碁教室合同交流会(注1)
短期	福岡県立柏陵高等学校環境科学コース	「環境」の視点からSDGs11「住み続けられるまちづくりを」に貢献
	直方市青少年育成市民会議	子どもに教わる環境ぼうさい
	特定非営利活動法人私善	自然栽培に触れ、子どもたち自らが未来の社会を考える

(注1)新型コロナウイルス感染症対策のため、実施時期を令和3年度に変更

一支援企業

株式会社ふくや、株式会社サニクリーン九州、学校法人麻生塾、株式会社新出光、福岡地所株式会社、株式会社NTTドコモ九州支社、株式会社サニックス、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社ゼンリン、株式会社筑水キャニコム、シャボン玉石けん株式会社、福岡総合印刷株式会社、日本ユニシス株式会社九州支社、株式会社福岡中央銀行(順不同)

問い合わせ先
青少年アンビシャス運動支援の会事務局
TEL 090-5087-6623
<http://www.ambitious-fukuoka.com/>

2020福岡県民さわやかマラソン大会 中止のお知らせ

11月22日(日)に開催を予定しておりました2020福岡県民さわやかマラソン大会につきまして、新型コロナウイルス感染症の動向が見通せない状況の中、大会参加者の安全面を最優先に考え、大会中止を決定しました。参加を楽しみにされていた皆様には、今回の決定に何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

●福岡県民さわやかマラソン大会事務局 (電話 092-643-6001)

青少年アンビシャス運動参加証新規交付団体一覧

(第144回)令和2年4月1日参加証交付分 3団体(うち絵本コンシェルジュ 1名)
(第145回)令和2年5月1日参加証交付分 3団体(うち絵本コンシェルジュ 2名)
(第146回)令和2年6月1日参加証交付分 1団体 (第147回)令和2年7月1日参加証交付分 3団体
(第148回)令和2年8月1日参加証交付分 3団体

累計 1,934団体

団体名	代表者氏名	活動内容	所在地市町
1 家庭でしっかりつけよう (1)			
特定非営利活動法人福岡食物アレルギーネットワーク	柴田 瑞美子	アレルギーの啓発活動	福岡市博多区
2 地域ぐるみで子どもを育てよう (4)			
合同会社アニマルファクトリー	佐野 健吾	動物ふれあい教室	北九州市八幡西区
ぼらんていあグループ「スワンの会」	関 由紀子	みんな集まれ「親子広場」	福岡市南区
ネイチャーなかがわ	榎本 攻	子供たちとアウトドアで自然にまみえる活動	春日市
特定非営利活動法人フリースペースよつば	石川 千恵	「未来を拓く」活動	朝倉市
3 学校でアンビシャス運動を止めよう (2)			
福岡県立大牟田高等学校	STKGプロジェクト	チキーンクラブ	福岡市
4 読書をしよう (3)			
福岡県立大牟田高等学校	STKGプロジェクト	チキーンクラブ	福岡市
5 世界の青少年と切磋琢磨しよう (2)			
NPO法人家庭子どもセンター	篠崎 正美	子ども食堂を2か所実施	朝倉市
宗像CSR推進実行委員会	浜田 修一	海の環境を守り美観を世界にとけようプロジェクト	宗像市
7 大字も企業もアンビシャス運動を応援しよう (1)			
株式会社キュービック	土田 武範	正社員と一緒に仕事のリアルを体験できる読書型インターンシップ実施	福岡市中央区